

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	平成30年度 第1回 嬉野市総合戦略推進委員会		
開催日時	平成30年7月30日(月) 13:30~15:45		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎3階 3-2会議室		
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	戸田委員、毛利委員、副島委員、鶴池委員、西川委員 熊谷委員、林委員	
	事務局	企画政策課長(池田)、企画政策課副課長(松本)	
	その他	なし	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業効果検証シート ・平成29年度地方創生関連事業一覧(地方創生推進交付金) 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1 平成 29 年度実施事業の進捗状況・評価・検証について		
内 容	平成 29 年度実施事業の内容及び進捗状況等について、事務局より説明の後、委員より意見を聴取し事業の評価・検証を行った。		
審議経過	事務局	嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標ごとに概要説明及び各事業実施に関する補足説明を行う。	
		基本目標① 嬉野市に住みたい・行きたい“ひと”の流れをつくる	
	委員	観光資源や魅力創出に関して、嬉野市でお金を落としてもらえ(滞在時間を増やす)「こと」・「もの」及び観光客等のニーズに即した観光地づくりがもっと必要と考えるがどうか。	
	事務局	観光振興が農業等その他産業振興にもつながる。観光客数の増とともに、観光消費額を増加させることが非常に重要と考えている。今後、市の基本構想に基づき、新幹線開業・駅周辺整備や医療センター跡地利用等も考慮しながら、「観光」を核としたまちづくりを地方創生事業で立ち上げられた地域DMO組織及び関係機関との協働で推進していく。	
	委員	観光振興のための佐賀県や近隣市町との連携についてどう考えているか。	
	事務局	嬉野市独自の観光振興とともに、近隣の武雄・鹿島・有田・佐世保などとの広域連携での取組みも重要と考えている。地域DMO組織等と行政が官民一体となって広域観光ルートや連携プロモーションなどに取り組んでいく。	
	委員	嬉野で開催される各まつりについて、開催期間中に商店街が閉まっているなど盛り上がり欠けていると感じるがどうか。	
委員	現在、各まつりの実行委員会において、企画・運営などご努力いた		

		<p>だいいただいている。関係者や地元の人たちも楽しまなければいけないと考えている。市としてもそういった多様な人たちを巻き込んだ企画・運営・PRを促していきたい。</p>
委員		<p>移住者支援に関して、地域おこし協力隊として移住・活動されている方の意見を反映させる施策等はどうか。</p>
委員		<p>地域おこし協力隊に関して、隊員が活動する中で地域とつなげる役目や活動の魅力を市内外に発信する取組みをやってもらいたい。</p>
事務局		<p>現在、嬉野市には、地域おこし協力隊として県での採用者1名と市での採用者2名が活動されている。今年度、市職員向けに地域おこし協力隊の方による移住・活動の発表会・報告会を予定している。その中で出てきた嬉野の発見や課題等を今後の支援施策にもつなげ、積極的な情報発信も行っていきたい。</p>
委員		<p>嬉野版DMOは観光協会が担われるのか。</p>
委員		<p>観光プロモーション等、これまでと同じ観光振興事業の展開とはならないか（地域関係者や民間事業者を巻き込んだ事業展開を望む）</p>
委員		<p>観光まちづくりに関し専門性のある人材登用が必要ではないか</p>
委員		<p>都会の人などから「嬉野の良さ」を耳にすることもある。今後も嬉野の強み・魅力をいろいろな形で発信してってもらいたい。</p>
事務局		<p>「嬉野温泉観光協会」が日本版DMO候補法人として観光庁へ登録された。既存業務（案内・PR等）とは別に、DMO事業部を立ち上げ、これまでよりさらに地域（各産業）との連携を深化させ、幅広い合意形成のもと多様な観光施策を展開していく。また今後、観光地運営に精通した人材登用等の体制充実も考えられている。</p>
委員		<p>空き家等を活用したお試し移住に関して、より多くの希望者に対応するため、「空き家」より手軽に調達できる「空き部屋」の活用も考えられないか。</p>
事務局		<p>市として注力すべき施策の一つである。今年度か来年度までにお試し移住できる箇所を整備する予定。他市町ではNPO法人がお試し移住を運営されている例もある。いずれにしても、嬉野への移住希望者を逃さないよう、様々なやり方を検討し移住促進に繋げたい。</p>

委員	<p>スポーツボランティア制度の創設について事業評価が低い。もっと充実した取組みとするためには、ボランティア内容等、もっと具体的な募集内容を示す必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>積極的な PR が足りない部分もあるのではないかと感じている。やり方として、あらかじめ登録いただいた方々に各種ボランティアをお願いするスタイルではなかなか登録が少ない。ボランティアが必要な大会・イベントごとに、ボランティアを募る方法が良いのかもしれない。</p>
委員	<p>後者のやり方が集まりやすいのではないかと思う。</p> <p>基本目標② 嬉野市で働きたい“しごと”をつくる</p>
委員	<p>6次産業推進についての事業評価が低い。県の産業支援センターには、6次産業や農業ビジネスの有能なコーディネーターが在籍しており、良い形でマネージメントされている他市町の例もあるようだ。県農政企画課を通すなどして、嬉野市も相談してみてもどうか。</p>
事務局	<p>農業部門の施策に関しては、全般的にマンパワー不足も感じている。専門知識を有した人材を受け入れたいがまだ結びついていない状況。先ほどアドバイスいただいたことは、ぜひ担当課へ繋がりたい。</p>
委員	<p>農業後継者の確保に関して、県トレーニングファーム研修生は農業経営を志す人の育成システムで、その後の就農定着率が高いと考えられる。現在、嬉野市からの研修生がいらっしゃるようだが、市内だけでなく市外県外からの嬉野市での就農希望者も支援・獲得してもらいたい。</p>
委員	<p>起業支援の推進について、平成 29 年度支援実績値の説明をお願いしたい。また、これは具体的施策にある創業支援ワンストップ窓口が直接的に関わったものか。</p>
事務局	<p>平成 29 年度中の 2 件（店舗）は、商工業支援関連の空き店舗活用補助を活用し市内で開業された件数である。創業支援ワンストップ窓口は、これまで金融機関・商工会・市など各窓口で対応していたものを、創業支援事業計画に基づき、相談から開業までを一貫して支援する窓口として嬉野市商工会に開設。今回創業分も商工会への相談の中でアドバイスを行い、創業に結びついたものもある。</p>

	<p>基本目標③ 嬉野市で結婚・出産・子育てしたい“まち”をつくる</p>
委員	<p>かかりつけ医の定着及び嬉野医療センターと連携した医療支援体制の整備促進についての事業評価が低い。情報発信の面でケーブルテレビ等を活用した取組みを行ってはどうだろうか。</p>
事務局	<p>提案いただいたことは、ぜひ担当課へ繋ぎたい。</p>
委員	<p>安心して子どもを育てられる環境の確保について、全般的に事業評価は「A」（事業実施済・実施中）であるが、例えばファミリーサポートセンターで言えば、子どもを預かってもらう場合、サポーターさんの家のみでの利用に制限されていて、利用したいが二の足を踏んでいるケースもある。現状の制度で良しとせず、利用者ニーズに合わせた制度の見直し等もお願いしたい。</p>
事務局	<p>市長も子育て支援は重要施策の一つに位置付けている。住民サービスを行う上で、市民や利用者の意見は非常に重要である。事業実施における費用対効果も見えていく必要があるが、現在実施されている施策・サービス等についても、さらなる利便性向上を目指し制度の見直し等も検討していくべきと考えている。</p>
委員	<p>特色ある教育の推進と確かな学力の育成について、嬉野市副読本「生きる力」の教科書は、小学6年生よりもう少し早い段階から活用した方が良いと思う。</p>
委員	<p>同施策の中の全国学力学習状況調査について、現状では重要業績評価指標（K P I）が未達成にも関わらず、具体的施策が初年度から全項目で「A」評価である。継続して施策実施中ということだろうが、このままでK P I達成につながるだろうか。</p>
事務局	<p>学力向上に関しては、必ずしも施策の事業評価とは比例しない部分もあるかと思うが、具体的な施策の実行を通して、学習習慣及び学力の向上につながる教育施策等に努めていきたい。</p>
委員	<p>今回のK P I 数値結果（中 3：全教科全国平均以下）だけでは、前年度から向上しているのか、また、K P I 達成に近づいているのかがわからない。もう少し具体的な数値結果を示してほしい。</p>
事務局	<p>担当課と協議し、こういった形でお示しできるか検討したい。</p>

委員	<p>本総合戦略全般のことだが、現状は各年度の具体的施策の取組み評価となっているようだ。今後、重要業績評価指標（K P I）達成などの検証・評価をするのか。</p>
事務局	<p>委員ご発言のとおり、現状は各年度の具体的施策・事業の取組み度合に応じた評価となっている。本委員会でのご意見・協議により、例えば最終年度には、重要業績評価指標（K P I）達成も考慮した各事業の評価・検証を行うことは可能である。</p> <p>（本協議の中で、最終年度には重要業績評価指標（K P I）達成も考慮した各事業の評価・検証を行うこととした。また、年度毎評価・検証についても、各事業取組み状況とK P I現状到達度合を議論していくこととした。）</p>
委員	<p>特徴的なものとして、「男性の婚姻率が低い」というのがあり、本総合戦略作成時にも議論に上がった。「結婚」についてはどうか。</p>
事務局	<p>男性の婚姻率が低い要因の一つとして、「職」の問題があると考えられる。安定した家庭を築いていく上で、「職」が重要となってくる。そういう意味でも、若い人が市内及び近隣に正社員として働ける雇用の場が必要である。都会の大学などで専門的な知識を身に付け、地方でそれを活かせる職場を創出できたらと考えている。最近、県も県内の優秀な企業等のPRを積極的に行っている。今後、市も県等と連携して雇用創出施策を進めていきたい。</p> <p>基本目標④ 嬉野市で安心して暮らしたい“地域”をつくる</p>
委員	<p>地域における身近な移動手段の確保について、路線バス等利用者の減少で運営が困難であることは承知しているが、嬉野市は観光の街でもあるので、地域の公共交通とともに観光周遊バスなどの運行はできないか。</p>
事務局	<p>まずは、既存路線バスや乗り合いタクシー等の地域公共交通確保の施策をしっかり実施していきたい。その上で観光面も考慮したバスの時刻表整備・調整なども必要と考えている。現状では嬉野オルレコース来客者向けに路線バス時刻表を案内し、利用客が増加したケースもある。また、インバウンド増加の流れから外国人観光客への外国語対応等も整備されてきている。観光客が多い土日にバスを回すなどの対応は関係者協議が必要となる。</p>

	<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>嬉野温泉街と新幹線駅との間をつなぐ公共交通整備の予定はあるか</p> <p>できたら該当区間をカバーするバス等を運行したいと考えている。やり方として民間業者でのバス運行になるのかどうかは未定。また、自動運転システムなども検討されている。</p>
<p>その他</p>	<p>なし</p>	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	2 その他		
内 容	地方創生推進交付金にかかる平成 29 年度地方創生関連の 4 事業の事業内容等について、事務局より説明の後、委員より意見を聴取し事業の評価・検証を行った。		
審議経過	事務局	平成29年度地方創生関連の4事業の概要説明及び各事業実施に関する補足説明等を行う。	
		1. コンパクトシティー・プラス・ネットワーク計画策定 【市単独事業：建設・新幹線課】 2. 地域クリエイターと連携した新たな担い手育成及びコンテンツ等開発事業（嬉野デザインウィーク事業） 【広域連携事業：企画政策課】 3. 観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト（肥前窯業圏関連事業） 【広域連携事業：うれしの温泉観光課】 4. 嬉野版DMOを核とした地域ブランドづくり推進事業 【市単独事業：うれしの温泉観光課】	
	委員	「コンパクトシティー・プラス・ネットワーク計画策定」の平成 29 年度事業成果はどのようなものか。	
	事務局	本事業は、地域生活のサービス拠点や居住区域を一定の地域に集約・誘導し、これら拠点を公共交通等で結ぶネットワークを形成することによりコンパクトなまちづくりを目指す事業である。平成 29 年度事業成果として、前年度作成した計画素案を基に、庁内作業部会や計画策定委員会での検討を行い、立地適正化計画を策定した。	
	委員	「地域クリエイターと連携した新たな担い手育成及びコンテンツ等開発事業（嬉野デザインウィーク事業）」は、今後も継続していくことが可能であるか。	

	<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>地方創生推進交付金の広域連携事業として、青森県弘前市、大鰐町、田舎館村との地域連携事業及び嬉野デザインウィーク開催事業を、平成 28～32 年度までの 5 年間で予定している。事業規模（予算）は各年度で違ってくる。</p> <p>観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト（肥前窯業圏関連事業）の平成 29 年度事業成果はどのようなものか。</p> <p>本事業は、長崎県・佐賀県及び 2 県 15 市町の計 17 自治体での連携事業であるが、嬉野市が参画している事業は、肥前窯業圏関連の事業となる。平成 29 年度事業成果は、肥前窯業圏活性化推進協議会への負担金として、肥前窯業圏に関する歴史・文化ツーリズム創出事業及び情報発信事業等を実施した。</p> <p>・「嬉野版DMOを核とした地域ブランドづくり推進事業」のDMO組織創設の進捗状況はどうか。</p> <p>平成28年度までの交付金事業も活用し、観光地域づくりの中核を担う嬉野版DMO構築にかかる体制検討及びその指針となる観光戦略の策定に取り組んだ。平成29年度に「嬉野温泉観光協会」がDMOを統括することとなり、観光関連の各種調査・情報発信・商品開発等取り組んだ。平成30年度以降は本格稼働に向け、正式に地域DMO体制を整備し、観光戦略に基づく観光施策を展開していく予定。</p>
その他	なし	